

復刊「医学と生物学」投稿規程

1. 目的

「医学と生物学」は免疫学・血清学の泰斗東京帝国大学医学部教授緒方富雄博士によって昭和17年（1942）に医学およびそれに関連する領域の原著論文、短報、総説などを掲載する学術雑誌として創刊された。以来、70年に亘り緒方教授が創設した財団法人緒方医学化学研究所が刊行を継続してきたが、平成25年（2013）に同法人の解散に伴い157巻をもって休刊となった。

平成30年（2018）になり、特定非営利活動法人バイオテクノロジー標準化支援協会（SABS）が電子ジャーナルとして復刊することとなった。復刊「医学と生物学」は旧誌を継承し医学・生物学および関連する広い領域の原著論文、短報、総説・解説などを掲載する学術雑誌である。

2. 投稿資格

「医学と生物学」のサイトへ登録し、投稿する。

3. 投稿論文の種類（和文及び英文）

- (ア)原著論文—ページ数制限無し（4ページ以内の短報、速報も受け付ける。）
- (イ)総説（解説・エッセイなどを含む）（ページ数制限無し）

4. 投稿原稿の作成方法

原則としてMS-WORDで作成する。段組みは一段とし、行間は1行、フォント(和文)は見出しMSゴシック12pt、本文MS明朝12pt；フォント(英文)は見出しCentury Schoolbook 12pt、本文Century Schoolbook 12pt Bold。

必要に応じて特定の単語をイタリック、下付き、上付き、強調、下線付きにしてもよい。

審査用の投稿原稿は、表題、要旨、本文、引用文献、図の説明、図および表の順で、1つのファイルにまとめて投稿する。ファイルサイズがあまりに大きくなるようにすること。出版用の高精細な図や写真は、受理後に提出をお願いすることがある。

5. 写真、図、グラフ、表など

写真、図、グラフは和文・英文共にFig. 1、Fig.2・・・の様に番号を付けること。また、表には和文・英文共にTable 1, 2,・・・の様に番号を

付けること。

写真は原則として tiff, jpg 又は png ファイルで受理する。(本文内にレイアウトした時に、300 dpi 以上となるように作成する)

図は原則として tiff, jpg, png 又は svg で作成する。ファイルサイズが不必要に大きくならように、svg での作成を推奨する。

表は原則として A4 用紙 1 ページに収まるように作成する。これ以外の大きな表は、添付資料として公開される。

6. 引用文献

原則として科学技術情報流通技術基準文献引用形式 (SIST 02) <http://fbennett.github.io/sist02/> に従い下記例のように作成し、本文の末尾に引用順に番号を振って記載する。doi 番号がある場合は作成例にあるように末尾に記載すること。

EndNote (<https://endnote.com/downloads/styles/>), Mendeley (<https://jp.elsevier.com/online-tools/mendeley/citation-style>) や Zotero (<https://www.zotero.org/styles>) などの文献管理ソフトは、SIST 02 などの Style file を配布している。これらの使用を推奨する。

作成例

- (1) 井尻憲一. 宇宙の生物学. 朝倉書店, 2001, 148p. (シリーズ応用動物科学／バイオサイエンス, 5).
- (2) 西潔, 石原和弘. 火山地域における震源計算についての提案. 火山. 2003, 48(5), p. 407–413.
- (3) Palani, D.; Manchanda, Rohit. Effects of heptanol on neurogenic contractions of vas deferens: A comparative study of stimulation frequency in guinea-pig and rat. The Japanese Journal of Physiology. 2005. doi:10.2170/jjphysiol.RP001205.
- (4) Schlick, Tamar. Molecular modeling and simulation. Springer-Verlag, 2002, 656p.

本文中では、以下のように番号で引用する：

西と石原は、火山地域の進言計算について、提案している (2)。

英文の投稿論文の場合は、Chicago style 16th (Author&Date)に従って作成してもよい。その場合は、文献リストは本文の末尾に引用アルファベット順に記

載する。

本文中では：

(井尻, 2001) ; (西, 石原, 2003) ; (Palani, Machanda, 2005) ; (Schlick, 2002) のように適所に挿入する。

7. 投稿方法

MS-WORD で作成された原稿は原則として当会ホームページから「医学と生物学」ページに入り、指示に従って投稿する（註1）。

註1：現在、ホームページからの投稿機能については、構築途中なので、しばらくは、添付ファイルとして E メールで thiyama@athena.ocn.ne.jp まで送って頂くことになる。メールには筆頭著者氏名と alphabet 表記及び連絡先メールアドレスを明記する。

図などファイルが大きくなり、添付ファイルで送れない場合は、その旨メールに明記し、別に無料のギガファイルサイト (<http://gigafile.nu/>) などを使って送付 (Deposit) する。CD,DVD その他のメモリー媒体を当会 (〒173-0005 東京都板橋区仲宿 44-2 バイオテクノロジー標準化支援協会) に郵送してもよい。

受理された論文は原則として受付順に掲載する。他誌に発表済みまたは投稿中の論文は投稿できない。

8. 査読・受理の可否

原稿は編集委員会が査読者を選定し審査する。採否は、メールで通知する。

9. 倫理指針等

ヒト・動物又はヒト・動物から直接採取した細胞を用いた研究の場合、当該研究の行われた施設のガイドラインに則り遂行された旨論文中に明記すること

10. 校正

著者校正は初校1回とする。

11. 掲載料金等

投稿あたり、1万円を申し受ける。ただし今後1年間は無料とする。

編集委員会で大幅な修正及び英文校閲を必要とした場合、筆頭著者に別途

費用を負担して頂く場合がある。

別刷りを必要とする場合は当会で印刷製本したものを制作し費用は著者の分担とする。

12. 著作権

掲載論文の著作権は本会に帰属する。